

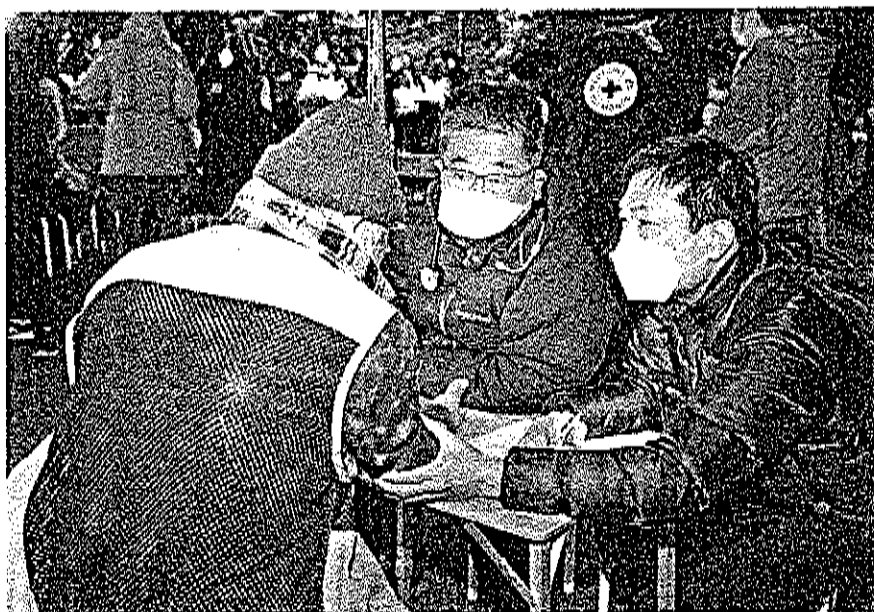
# 弁当・カイロ：炊き出しに列

## NPO主催 小池氏ら医療相談

### 東京・豊島区

生活に困窮する人々たちを

支援するNPO法人「THE NOHASI(てのはし)」は29日、東池袋中央公園(東京都豊島区)で炊き出しを行いました。寒風が吹き付けるなか、1時間以上前から列ができ、大勢の人たちが弁当やバナナ、カイロなどを受け取りました。9月に失業したという1人暮らしの男性(34)は「電気代もガス代も2000円は上がっている。炊き出しは毎回来ています。ここの食料がなかったら生活は成り立たない」と寒さで体を震わせながら話しました。



「てのはし」の越年越冬炊き出しで、医療相談活動をする日本共産党の(右から)谷川智行東京都委員会新型コロナウイルス対策本部長、小池晃書記局長＝29日、東京都豊島区

病気で失業し、今は生活に行っても野菜は高くて買えない。1食でももらえる男性(69)は「スーパーと本当に助かる。誰もが、

人生いつ転落するか分からない」とつぶやきました。同団体の24日の炊き出しには、533人と過去2番目に多い人たちが並び、弁当を受け取りました。清野賢司事務局長は「秋から7〜8回連続で500人を超えた人が集まっています。仕事や収入が回復しない、フルでは働けない人も多い。物価高騰が生活をさらに厳しくしている」と語りました。

日本共産党の小池晃書記局長、谷川智行・党都委員会新型コロナウイルス対策本部長もスタッフとして参加。医師として医療相談にのり、血圧を測り、健康状態を尋ねました。小池氏は「岸田政権の無為無策がこういう形であらわれている」と話しました。

公的支援の窓口が閉まる年末年始、各地のNPOなどが炊き出しを予定しています。